

学力がつくとき

「成績が伸びるとき」といった方がわかりやすいかもしれません。

5月26日から6月15日にかけて、1年生と面談を行った際、何人かの生徒は「中間テストの成績が悪かった」、「これから成績が伸びるか心配だ」などの心配事や悩み事をもっていました。人はそれぞれ個性や得意不得意があり、早く理解できる生徒やじっくり時間をかけて理解できる生徒がいます。

進路相談室の先輩からのメッセージの中には、入学して初めてのテストで、今まで体験したことがないような成績をとったけど、高校卒業時には、希望する大学へ進学できた生徒もいました。

では、学力をつけるためにはどうしたらよいのでしょうか。5月に書いた「規則正しい生活をする」と6月に書いた「目標をもって勉強すること」は大切なことです。しかし、何らかの取組をして、すぐに成績が伸びるかという、そんなにうまくいかない場合が多いのではないのでしょうか。(もちろんすぐに成果を出す生徒もいるが・・・)

校長先生は、次のようなことを考えています。それは、学力がつく(成績が伸びる)ためには、そこにたどり着くまでの知識量、考えた量(時間)、書いた量(時間)、読んだ量(時間)などが蓄積され、ある時それらが関わり合って、正解が増え、短時間で解くことができるようになると考えています

ちょっと変わった例ですが、植物の成長の例を紹介します。

5階の階段にモンステラ?に似た観賞用の植物があり、今、若葉が成長しています。



5月31日



6月20日



6月21日

写真のように、20日間、葉を開かずにほぼ同じ様子であったが、葉を出すやいなや日に日にぐんぐんと大きくなっています。(黄色の矢印)

このように長い時間にわたる勉強の蓄積が、ある日突然「できる」ようにしてくれるのではないのでしょうか。皆さんの夢の実現と同様に、少し先(未来)に目標を定め、じっくり毎日の勉強に取り組んでみてください。